

# ＋ 地震対策 8 カ条 ＋

揺れはじめたら、何もできません。  
いざという時のためにこころがけておきましょう。

## 1 まず身の安全を



ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。家具の転倒や落下物には十分な対策を心掛けておきましょう。

## 2 あわてず火の始末

すみやかに、調理器具や暖房器具の火を消します。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を身につけておきましょう。



## 3 出口を確保



震動でドアが開かなくなることも。特に鉄筋コンクリートの建物は、ひずんで戸や窓が開かなくなることがあります。

## 4 あわてて外に飛び出さない

阪神淡路大震災では、家屋の倒壊により亡くなった方が大多数を占めましたが、通常では屋内の方が安全です。火の始末、身の安全を確認した上で、ガラスなどの落下物に注意しながら外へ出ましょう。冷静な判断が大切です。

## 5 狭い路地やブロック塀には近づかない



ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れがあります。すばやく離れましょう。

## 6 協力しあって応急救護

地域ぐるみで協力しあって、応急救護の体制づくりを徹底しましょう。



## 7 避難は徒歩で



マイカーでの避難は危険なうえ、通行の障害になることもあります。日頃から家族で避難場所、連絡場所を確認しておきましょう。

## 8 正しい情報をつかむ

うわさやデマにごまかされず、ラジオやテレビの情報をもとに正しく聞いて、的確な行動をしましょう。



耐震診断・耐震改修に関する  
相談窓口を設置しました。  
お気軽にご相談ください。

北海道写真の町

東川町 都市建設課

TEL:0166-82-2111

FAX:0166-82-3644